



2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2023年11月13日

上場会社名 株式会社fonfun

上場取引所 東

コード番号 2323 URL <https://www.fonfun.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 水口 翼

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 兼 コーポレートソリューショングループ長 (氏名) 八田 修三

TEL 03-5365-1511

四半期報告書提出予定日 2023年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	322		21		39		82	
2023年3月期第2四半期								

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	24.68	
2023年3月期第2四半期		

当社は2023年4月1日付にて当社の完全子会社であった株式会社FunFusionを吸収合併したことにより連結子会社が存在しなくなり、非連結決算会社となっております。このため、2023年3月期第2四半期は連結業績を開示しておりますが、当第1四半期より非連結での業績を開示しております。そのため、2023年3月期第2四半期の経営成績(累計)及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	1,013	632	62.4
2023年3月期	939	550	58.6

(参考)自己資本 2024年3月期第2四半期 632百万円 2023年3月期 550百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		0.00	0.00
2024年3月期		0.00			
2024年3月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	670	4.9	61	41.5	79	85.8	122	198.3	36.58

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	3,380,920 株	2023年3月期	3,380,920 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	45,551 株	2023年3月期	45,351 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	3,335,474 株	2023年3月期2Q	3,335,668 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている事業見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(持分法損益等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間(2023年4月1日～2023年9月30日)のわが国経済は、経済活動の正常化が進み、各種政策の効果もあって、景気は緩やかな回復が続くことが期待されております。ただし、金融引き締めやウクライナ情勢の長期化などに伴う食糧・資源・エネルギー価格の上昇、依然として継続する半導体や各種部材不足の影響などにより、その先行きは不透明な状況が継続しております。

こうした市場環境のなか、当社を取り巻く環境に関しては、スマートフォンの契約数は微増の状況が続いております。2023年6月末における携帯電話の契約数は2億1,268万件(前年同期比1.0%増 総務省発表資料による)であり、大幅な契約数増加が見込めないなか、総務省主導による政策の影響もあり、携帯電話端末の価格と通信料のバランスが変化してきています。主要通信キャリア以外の仮想移動体通信事業者(MVNO)の存在感も増し、一契約あたりの売上高(ARPU)は微減を続け、コンテンツビジネスにも影響を及ぼしております。主要携帯通信キャリアが主導してきたビジネスモデルは、今後も大きく変化していくことが予想されます。

SMSサービスについては、2026年の国内直収市場規模は配信数140億7,713万通と予想され(「ミックITレポート2022年10月号」(ミック経済研究所))、2022年度から2026年度までの年平均成長率は40.3%増となり、引き続き配信数は大きな成長を続けていくものと予測されておりますが、さらに顕著となってきた競合他社参入による配信の低価格化により、売上高及び営業利益については、その成長に比例しない状況となってきており、速やかにその対策を講じることが課題であると認識しております。

このような状況の中、当社は、「お客様の喜ぶことを皆と分かち合い、ともに喜ぶ」を経営理念として掲げ、お客様の生活をより豊かに便利にするツールを提供できるよう当社の既存事業の収益を維持しつつ、2023年9月29日に公表した中期経営計画に沿って、規模拡大、エンジニアの確保を目的としたM&A推進のための新組織を立ち上げております。

【当第2四半期累計期間の実績】

以上の方針のもと、当第2四半期累計期間の業績は、以下のとおりとなりました。

なお、当第1四半期より、非連結決算に移行したことに伴い、四半期連結財務諸表を作成しておりません。前年同期数字は、連結財務諸表を作成していたしましたので、参考情報として連結累計期間数字と比較して記載しております。

	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	276百万円	332百万円	55百万円	20.0%
営業利益	8百万円	21百万円	12百万円	150.8%
経常利益	9百万円	39百万円	30百万円	327.3%
親会社株主に帰属する四半期純利益 (※)	8百万円	82百万円	73百万円	833.6%

※2024年3月期第2四半期累計期間については四半期純利益を表示しています。

売上高は、前年同期比20.0%増の332百万円となりました。営業利益は、売上高の増収により前年同期比150.8%増の21百万円となりました。また、経常利益は、受取保険金の計上により、327.3%増の39百万円となりました。四半期純利益は、子会社吸収合併による抱合せ株式消滅差益42百万円の計上により82百万円となりました。

当社の各セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

(セグメント別売上高)

	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	前年同期比	
			前年同期比	前年同期比
SMS事業	106百万円	150百万円	44百万円	41.7%
リモートメール事業	87百万円	81百万円	△6百万円	△7.1%
受託開発ソフトウェア事業	27百万円	49百万円	22百万円	83.6%
ボイスメール事業	41百万円	37百万円	△3百万円	△9.7%
その他	14百万円	13百万円	△1百万円	△10.1%
合計	276百万円	332百万円	55百万円	20.0%

(セグメント別営業利益又は損失△)

	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	前年同期比	
			前年同期比	前年同期比
SMS事業	37百万円	19百万円	△18百万円	△48.9%
リモートメール事業	37百万円	33百万円	△3百万円	△9.4%
受託開発ソフトウェア事業	11百万円	21百万円	10百万円	87.5%
ボイスメール事業	11百万円	8百万円	△2百万円	△20.8%
その他	△1百万円	1百万円	2百万円	—
調整額	87百万円	63百万円	△24百万円	△27.5%
合計	8百万円	21百万円	12百万円	150.8%

※調整額とは、セグメント間取引消去額および全社費用(セグメントに帰属しない一般管理等)をいいます。

① SMS事業

SMS事業はショートメッセージを利用した通知サービスであり、「いけいけナンバー」、「いけいけナンバーAPI」、「らくらくナンバー」と3つのサービスがあります。当第2四半期累計期間において、導入企業と同業種への事例紹介や、既存のお客様からのご紹介により、新規獲得件数が伸長したこと等から、売上高は前年同期比41.8%増収の150百万円となりました。セグメント利益は、子会社合併及び人員配置の変更による販管費按分の割合の変化により、48.9%減益の19百万円となりました。

② リモートメール事業

当第2四半期累計期間において、「リモートメール」の個人版サービス・法人版サービスともに成長市場であるスマートフォン市場での拡販に継続して努めておりますが、サービス解約による利用者数の減少の影響もあり、売上高は前年同期比7.1%減収の81百万円となりました。また、セグメント利益も、売上高の減収により、前年同期比9.4%減の33百万円となりました。

③ 受託開発ソフトウェア事業

受託開発ソフトウェア事業は、システム開発、保守業務によるものであります。

受託開発ソフトウェア事業の売上高は前年同期比83.6%増収の49百万円となりました。セグメント利益も、売上高の増収により、前年同期比87.5%増の21百万円となりました。

④ ボイスメール事業

ボイスメール事業は、2019年12月に譲受けた事業であり、スマートフォンアプリを利用して音声情報をメールのようにやり取りできる法人向けのサービスであります。売上高は前年同期比9.7%減収の37百万円となりました。また、セグメント利益も、売上高の減収により、前年同期比20.8%減の8百万円となりました。

⑤ その他

その他の売上は、主に、インターネット接続の提供及びウェブサイト構築に用いるサーバのレンタルサービスであります。

売上高は前年同期比10.1%減収の13百万円、セグメント利益1百万円(前年同期セグメント損失1百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当四半期会計期間末における総資産は1,013百万円となり、前事業年度末に比べ、73百万円の増加となりました。その主な要因は、売掛金の増加26百万円、関係会社株式の減少19百万円、のれんの減少21百万円等であります。

負債の部は380百万円となり、前事業年度末に比べ8百万円減少しております。主な要因は、買掛金の増加7百万円、長期借入金の減少28百万円、短期借入金の減少9百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少11百万円等であります。

純資産は632百万円となり、前事業年度末に比べ82百万円の増加となっております。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2023年5月15日に発表しました業績見通しから以下のとおり、変更しておりません。

SMS事業において、市場の需要動向の変化や競争の激化により今期中の予算達成が不透明であること、進行中である既存の受託開発案件について品質も含めて見直しをしたこと等より、現時点より期末までの業績を保守的に見積もった結果、期首に予想していた売上高を下方修正することとし、前期連結実績の4.9%増の670百万円に修正いたします。また、営業利益につきましては、売上高の減少の影響を、DXによる効率化と経費削減によって緩和することで、前期比41.5%増の61百万円となる見通しです。

なお、経常利益につきましては、上述の営業利益の減少の影響はあるものの、2024年3月期第2四半期において受取保険金の計上の影響を考慮し通期79百万円と、前期比85.8%増となる見込みです。当期純利益につきましては、2024年3月期第1四半期において子会社合併に伴う抱合せ株式消滅差益42百万円の計上の影響により通期122百万円となる見込みです。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	533,214	626,301
売掛金	64,718	91,466
仕掛品	2,600	—
短期貸付金	128	128
その他	29,445	23,330
貸倒引当金	△416	△840
流動資産合計	629,690	740,385
固定資産		
有形固定資産	5,297	4,730
無形固定資産		
のれん	248,712	227,578
商標権	943	1,422
ソフトウェア	—	3,369
無形固定資産合計	249,656	232,370
投資その他の資産		
関係会社株式	35,879	16,100
長期未収入金	775,626	774,976
その他	18,858	19,558
貸倒引当金	△775,626	△774,976
投資その他の資産合計	54,737	35,658
固定資産合計	309,690	272,759
資産合計	939,381	1,013,145
負債の部		
流動負債		
買掛金	12,527	19,863
短期借入金	88,328	79,162
1年内返済予定の長期借入金	105,721	94,557
未払法人税等	290	145
賞与引当金	2,295	3,673
未払金	8,718	16,509
その他	16,178	38,255
流動負債合計	234,059	252,165
固定負債		
長期借入金	133,395	105,319
退職給付引当金	21,896	23,391
固定負債合計	155,291	128,710
負債合計	389,351	380,876

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	607,299	607,299
利益剰余金	17,503	99,835
自己株式	△174,773	△174,866
株主資本合計	550,029	632,269
純資産合計	550,029	632,269
負債純資産合計	939,381	1,013,145

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	332,148
売上原価	124,883
売上総利益	207,264
販売費及び一般管理費	
広告宣伝費	6,936
支払手数料	51,910
役員報酬	14,100
給料及び手当	45,695
地代家賃	7,731
退職給付費用	1,495
のれん償却額	21,133
賞与引当金繰入額	6,429
その他	30,723
販売費及び一般管理費合計	186,155
営業利益	21,108
営業外収益	
受取利息及び配当金	21
受取保険金	20,425
貸倒引当金戻入額	650
その他	42
営業外収益合計	21,139
営業外費用	
支払利息	2,270
その他	272
営業外費用合計	2,543
経常利益	39,705
特別利益	
抱合せ株式消滅差益	42,771
特別利益合計	42,771
税引前四半期純利益	82,477
法人税、住民税及び事業税	145
法人税等合計	145
四半期純利益	82,332

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	82,477
減価償却費	2,543
のれん償却額	21,133
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△612
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	1,495
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△135
長期未収入金の増減額 (△は増加)	650
受取利息及び受取配当金	△21
支払利息	2,270
受取保険金	△20,425
抱合せ株式消滅差損益 (△は益)	△42,771
売上債権の増減額 (△は増加)	23,692
未収入金の増減額 (△は増加)	980
前払費用の増減額 (△は増加)	△5,366
仕入債務の増減額 (△は減少)	△22,738
未払金の増減額 (△は減少)	△6,441
未払費用の増減額 (△は減少)	748
未払消費税等の増減額 (△は減少)	17,040
その他	14,342
小計	68,860
利息及び配当金の受取額	17
利息の支払額	△2,081
保険金の受取額	20,425
法人税等の支払額	△580
営業活動によるキャッシュ・フロー	86,641
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△498
無形固定資産の取得による支出	△1,720
貸付金の回収による収入	63
定期積金の預入による支出	△600
保険積立金の積立による支出	△647
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,401
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の返済による支出	△9,166
長期借入金の返済による支出	△53,896
自己株式の取得による支出	△92
財務活動によるキャッシュ・フロー	△63,154
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	20,084
現金及び現金同等物の期首残高	210,767
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	72,396
現金及び現金同等物の四半期末残高	303,249

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

	当第2四半期会計期間 (2023年9月30日)
関連会社に対する投資の金額	16,100千円
持分法を適用した場合の投資の金額	16,420 "
	当第2四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
持分法を適用した場合の投資利益の金額	△164千円